

<出願抄録シート>

参考←ここをクリックして下

*[名称]	①携帯情報端末の表示装置		[作成日]	2000/02/08	
			yyyy/mm/dd		
[所属部課]	4S-S1	[発明者]	岩井 潔 (他 名)	[内線]	4652
[開発機名]	2000年新PDC携帯電話		[開発NO.]		
[出願の緩急]	1. 普通		[発明性質]	3. 先行7行7	

*部(青字) 発明者 記入

[所属長確認] 川村克明

特許管理者記入セクション1

[大分類]	A:チューナ	[中分類]	06:無線機(送受信機)	[小分類]	005:携帯電話
[受付番号]		[受付日]		[評価会期]	54期
[技術分類]	A06005	[分類コード]			

*従来技術

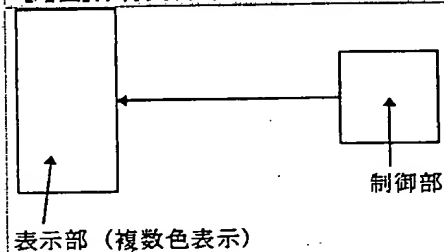
*[構成] 今まではどんな事をやっていたか?

複数色の表示ができる例えば3原色の光源又はフィルタを透過又は反射させた光を使用した複数色表示可能な表示装置は表示内容に関わらず常に複数色で表示していた。

*[欠点] 今までの問題点は?

常に複数色で表示するので表示品質は良いが、消費電流が増加し、携帯機器の場合の電池使用時間が短くなる欠点があった。

*[略図] 添付資料フィートにも記入可



*発明・考案

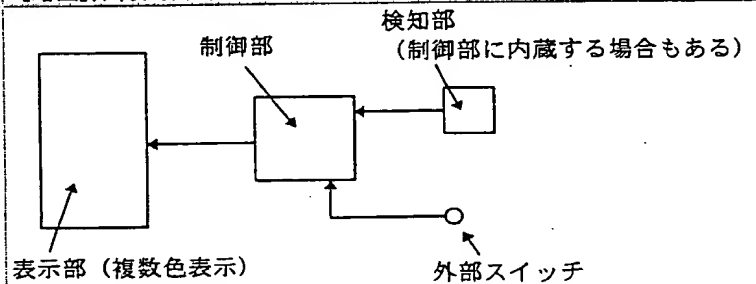
*[構成] どんな仕掛けで、どこを権利化したいか

携帯情報端末の内部に表示内容が文字等の表示で簡素化しても良いか否か判断する機能を設け、簡素化表示で可と判断した場合は表示を単色で表示し、非選択した表示色回路は動作を停止するようにする。また、上記簡素表示指示は使用者の意志で切り替えが有っても良い。また、上記簡素表示指示は使用者の意志で機器が自動的に判断しなくする手段を有しても良い。

*[特徴] 今までとの効果の違いは?

表示する内容に応じて表示品質(色)を選択するように構成したので、表示に必要な電力が少なくなり、携帯情報端末の電池の使用時間を長くする事が出来る。

*[略図] 添付資料フィートにも記入可



編集日:2000/02/18 編集者:Yoshiro Sugai

作成日:2000/02/08 作成者:Katsuaki Kawamura

*[添付資料等]

特許管理者記入セクション2

[発掘会・評価会結果]	先行調査後出願		
[コメント]			
[必要書類]	<input type="radio"/> 出願抄録シート <input type="radio"/> 届出書表紙(表・裏に記入)	<input type="radio"/> 届出書明細書 <input type="radio"/> その他	その他

[発掘会実施日]	[評価会実施日]	[その他]	[確認]
2000/02/16			岩井

登録 出願抄録シート

Mail

図面を見る

5. そこで表示装置は画像用に適した複数色表示可能なものをそのまま使用し、文字やグラフィックス等のデータを表示する場合には表示可能な色の中から任意の一色（減色でも可）を選択して表示する。
6. 例えば背景の白色を表示色の全ての色を表示させて作っている場合には、背景色を消し、文字部分を単色にすることで、ほとんどのドットに掛かる電圧を減らすことが出来るので、全体の消費電力を削減することが可能となる。TFT駆動のLCDや自発光のEL表示装置などでは、その効果がより顕著となる。
7. 上記のように表示色数を減らしても、内容が文字やグラフィックス等であればユーザーにとって必要な情報は十分に伝わるのでデメリットはほとんど無い。
8. 表示色を減らすことでセーブできた電力は、そのまま携帯装置本体の使用時間を延長する方向に使用でき、ユーザーにとっては小型、軽量、長時間使用可能といったメリットを容易に得ることができる。

以上